

基本理念 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現

基本施策 誰もが生きる支援を受けられるように地域全体で取り組む施策

① 地域におけるネットワークの強化

市民と保健所、病院、学校、企業などが会議を行い、自殺についての課題の共有や具体的な対策について話し合います。それぞれの役割を明確にし、相互のネットワークを強化します。



② 自殺対策を支える人材の育成

市民が相互に支え合うことができるよう、ゲートキーパーの育成を行います。

「ゲートキーパー」ってどんな人？

身近な人の不調に気づき、声をかけ、話をじっくり聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。ゲートキーパーは特別な人ではなく、誰でもなることができます。あなたのやさしい声かけが、大切ないのちを守ることに繋がります。



③ 市民への啓発と周知

自殺は誰にでも起こりうる身近なできごととして市民がとらえられるように、啓発と周知を行います。9月10日～16日の自殺予防週間や3月の自殺予防対策強化月間等で、街中や公共機関などにおいて自殺予防の啓発を行います。



④ 生きることの促進要因への支援

- 誰でも悩みを相談できるよう相談窓口を充実させます。
- 自殺未遂をくり返す人を支えるため、より専門的な知識をもつ人を増やします。
- ところに大きなストレスを及ぼす災害への対策として、平常時からこころの健康に関する情報を周知します。



重点施策 豊橋市の特徴に対して取り組む主な施策

① 子ども・若者に対する自殺対策の推進

自己肯定感を育む教育

児童・生徒一人一人のこころの育ちを大切にしたい教育をします。また、ストレスや困難に直面した際のSOSの出し方を身につけ、主体的に周囲と関わっていくための力を養います。



地域で安心して生活できる居場所づくり

学校に行きづらい子どもの居場所や放課後の生活の場、多彩な経験を得られる活動など、安心して生活できる居場所づくりをします。



子ども・若者への相談体制の充実

いじめ、学業、家庭問題、性的マイノリティ(性的少数者)など、多岐にわたる悩みに対応する相談体制を充実します。子ども・若者が悩みを一人で抱えることなく、解決の糸口を見つけたる支援を行います。



妊娠期から出産、育児まで継続した支援

安心して妊娠、出産ができるための健康管理、妊娠・出産・育児に関する知識の啓発を行います。また、妊娠期から継続した丁寧な支援により、産後うつ病を予防します。



② 高齢期に対する自殺対策の推進

高齢者への相談体制の充実

健康問題、介護疲れなど、高齢期に特有な不安や悩みに対応する相談体制を充実します。



高齢者の孤立予防

老人クラブやアクティブシニア(元気高齢者)活動などの居場所や活躍の機会をつくることで、高齢者の生きがいを支え、孤立の予防を行います。



③ 壮年期の男性に対する自殺対策の推進

安定して働き続けられる職場環境づくり

長時間労働や健康問題を抱えた人の勤務体制の整備などを行います。



経済的に困っている人への生活支援

失業や廃業、健康問題などさまざまな理由により生活が困窮している人に対して、心身の健康を維持しつつ自立への支援を行います。

